

佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会
研修委員会・情報交換企画運営委員会・広報委員会
合同委員会 議事録

日時：令和4年11月16日（水）19：00～20：30

場所：佐賀メディカルセンター3階 会議室

1. 令和4年度各地区支部活動状況について

- ・中部地区：10/26 BCP策定に向け東京海上日動寺本氏を招き研修会を開催。17ヶ所（20名）参加。BCPは様々な職種、業種でも策定を行っている。寺本氏より訪問看護とのつながり、フォローも行っていきたい。ひな形の提供も行う。一度策定を行えばそれで終わりではない。防災の計画までではなくその先経営が継続できるような計画、策定が必要との事。他のステーションとも今回の研修について共有し協議を行いたい。
- ・南部地区：「ハラスメント防止対策マニュアル」の作成中。
- ・東部地区：10/12 「虐待マニュアル」資料や指針をもとに作成を行った。今年いっぱい完成予定。他、ステーションどうしの情報共有などを行った。
- ・西部地区：訪問看護サービスガイド（「地域を支える訪問看護」）を医師会（在宅介護医療連携室）と共同で作成中。

※BCP策定についての補足意見：厚生労働省や各都道府県、政令指定都市などBCPのひな型は数多くある。熊本は感染や災害で1つのステーションが動けなくなった時の為に「ペアステーション」を作っている。近くのステーション同士でペアを組む、遠くの所と組む、など様々なケースがある。また地域の訪問看護ステーションが数少ない場合は利用者との契約の時点から「うちの地区は4ヶ所のステーションで協力体制を取ってやっている。」と説明をするなどの方法もある。利用者レベルではすでに2ヶ所の訪問看護ステーションでペアを組んでやっている。お互いがカバーし合いスムーズに対応できる。

※慶応大学医学部衛生学 山岸暁美氏 講義（BCP）の受講検討

2. 令和4年度第2回講演会及び令和4年度第1回管理者の意見交換会（11月26日）について

- ・出欠回答率60%。出欠回答を促す。
- ・会場レイアウトの確認。
- ・講演会について：2ヶ所は事例の個人情報保護目的から資料はなしでパワーポイントでの報告予定。ディスカッションを行う。「ペアステーション」の実際の事例も紹介予定。もう1カ所については発表形式を確認予定。

3. 次回委員会について

日時：令和5年1月18日（水）19：00～

場所：佐賀メディカルセンター

内容：①支部会活動報告（地区支部進捗状況や予定の報告などでも可）

②年度内の講演会、意見交換会についてなど：寺本氏の講義も検討

4. その他

①11/18 都道府県看護協会会議の際の「在宅領域に関する県行政への政策要望」についての意見→コロナ感染者対応の手当を在宅の分野でも手厚くしてほしい。他県の対応についても知りたい。

②「ハラスメント」対策について皆さんがどういう対策をしているのか知りたい。最近では増えている傾向がうかがえる。特定の看護師を出入り禁止にしたり厳しい言葉や怒声を浴びたりしているスタッフがいる。スタッフの心身の健康も担保しなくてはならないので対応に苦慮している。→契約書を作り直して、契約時にハラスメントによる訪問の継続が困難な場合には訪問の中止もやむを得ない事を説明している。利用者の方もコロナ禍によるストレスもあるが、最近では動物による間接的なハラスメントの事例も問題視されている。無理せず他のステーションの協力を要請する。ケア継続が困難な場合には訪問を中止させていただくなどの対応が必要となる。交通費を請求するか否かも事業所の自由裁量となっているので、訪問看護の質の確保の問題もあがってくる。

③令和4年度訪問看護ステーション連絡協議会九州ブロック会議（12月9日）について
意見交換

【要旨】協議会としての活動の中で管理者のマネジメント力向上のためにやっている事。

他県ではどのような取り組みがあるかについて。（例：九州内他県：ファーストレベルの受講修了を必須としているなど）

出席：南里副会長、片桐理事、浦方理事

以上

文責：書記 浦方